

※ロタウイルスワクチンは生後2か月（誕生日から2か月後にあたる前日）になってから接種を受けてください。

## ロタウイルスワクチン 定期予防接種のお知らせ

令和2年10月1日より、ロタウイルスワクチンを定期接種として実施します。

対象は令和2年8月1日以降に生まれたお子さんです。

9月30日までは任意接種となり、費用がかかりますので、ご注意ください。

ワクチンの接種にあたっては、以下の説明をよく読み、十分に理解したうえで実施をお願いします。

### 1 接種スケジュール

| ワクチン名               | ロタリックス（1価）                                                                                                             | ロタテック（5価）          |
|---------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|
| 接種時期<br>および<br>留意事項 | 出生6週0日後から24週0日後まで                                                                                                      | 出生6週0日後から32週0日後まで  |
|                     | ※ どちらのワクチンも、 <u>初回接種は生後2か月に至った日から出生14週6日後までに受けてください。</u><br>やむを得ず、出生15週0日後以降に初回接種を行う場合は、安全性について、医師と十分に相談し、接種を検討してください。 |                    |
| 接種回数                | 2回接種（27日以上の間隔をあける）                                                                                                     | 3回接種（27日以上の間隔をあける） |
| 接種方法                | どちらも経口接種                                                                                                               |                    |
| 接種後の注意              | 接種後（特に1～2週間）は腸重積症（裏面参照）の症状に注意し、症状がみられる際には、速やかに接種した医療機関を受診してください。                                                       |                    |

### 2 接種場所 市内実施医療機関（別紙「多摩市予防接種実施医療機関」を参照）

※八王子市、町田市、日野市、稲城市の実施医療機関でも多摩市内と同様に接種できます。  
上記4市の実施医療機関については、各市のホームページなどで確認してください。

### 3 接種費用 無料（対象年齢内で接種を受ける場合）

- 4 その他
- ・接種当日は、同封の予診票と母子健康手帳、本人確認書類（医療証や健康保険証など）をお持ちください。
  - ・2回目以降の予診票は、医療機関で受け取りをお願いします。

### 【ワクチンの特徴と副反応について】

このワクチンは、ロタウイルス胃腸炎（裏面参照）の発症そのものを7～8割減らし、入院するような重い症状については、そのほとんどすべてを予防することができます。

ロタウイルスワクチンは2種類あり、どちらも生ワクチン（弱毒化したウイルス）で、飲むワクチンです。医師と相談し、どちらかのワクチンを選んでください。2種類とも、予防効果や安全性に差はありませんが、接種回数が異なるため、他のワクチンとの接種スケジュールなどを考慮して選択します。なお、途中からワクチンの種類を変更することはできません。やむを得ない事情により、ワクチンの種類を変更する必要がある場合には、健康推進課(Tel042-376-9111)までご相談ください。

接種回数はロタリックスが2回、ロタテックが3回です。副反応の例として、下痢、嘔吐、ぐずり、咳・鼻水、発熱などがあげられます。通常は1週間程度でおさまりますが、高熱やけいれんなどの異常や、腸重積症の症状（裏面参照）がみられる場合は、すぐに医師の診察を受けてください。

また、定期予防接種が原因で、重篤な健康被害が発生し、厚生労働大臣が認定したときには、予防接種法の規定により、健康被害の救済が行われることになっています。必要が生じた際には、診察した医師、保健所、健康推進課いずれかにご連絡ください。

裏面につづく

## 【ロタウイルス胃腸炎について】

ロタウイルスが口から入ることで感染します。感染力が非常に強いため、たとえ十分に手洗いをしていても感染を防ぐことは難しく、ほとんどのこどもが乳幼児のうちに感染するとされています。

ロタウイルスに感染すると、2～4日程度の潜伏期間の後、水のような下痢や嘔吐が繰り返し起こります。また、発熱や腹部の不快感などの症状もよくみられます。通常1～2週間で自然に治癒しますが、下痢や嘔吐が激しくなると、重い脱水症状を起こし、まれに脳や腎臓に影響を及ぼす場合があるため、注意が必要です。大人は、ロタウイルスの感染を何度も経験しているため、ほとんどの場合症状が出ません。しかし、乳幼児は激しい症状が出る事が多く、特に初めて感染したときに症状が強く出ます。

出生後、すぐに感染する場合もあるため、ワクチンの接種は早い時期に完了させましょう。

## 【ワクチンを接種する前の留意点】

赤ちゃんのお腹がいっぱいだと、ワクチンを上手に飲み込めない場合があるため、接種前30分ほどは授乳を控えることをおすすめします。なお、ワクチンを吐き出してしまったとしても、わずかでも飲み込みが確認できれば、ワクチンの効果に問題ないとされていますので、再度接種する必要はありません。

## 【ワクチンを接種した後の留意点】

予防接種を受けたあと、30分間ほどは医療機関で赤ちゃんの様子をみてから帰宅するか、医師とすぐに連絡がとれるようにしておきましょう。ワクチン接種後、2週間ほどは、赤ちゃんの便の中にウイルスが含まれることがありますので、おむつ交換の後などは、丁寧に手を洗ってください。高熱、けいれんなど、異常を感じた場合は、すぐに医師の診察を受けてください。

## 【腸重積症について】

腸重積症とは、腸管の一部が後ろの腸管に引き込まれ、重なってしまう症状を言います。0歳児の場合、ロタウイルスワクチンを接種しなくても起こる病気で、生後4か月頃から増え始め、生後7～9か月でピークとなり、その後は減少していく傾向にあります。そのため、早めに接種を開始し、早期に接種を完了させることが大切です。

発症すると、手術が必要になる場合もありますが、発症後、早期に治療をすれば、ほとんどの場合は手術を受けずに治療できます。

以下のような症状に気づいたら、速やかに接種した医療機関を受診してください。接種した医療機関とは別の医療機関を受診する場合は、接種したワクチンを医師に伝えてください。

- |                                            |                                  |
|--------------------------------------------|----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 泣いたり不機嫌になったりを繰り返す | <input type="checkbox"/> 嘔吐を繰り返す |
| <input type="checkbox"/> ぐったりして顔色が悪くなる     | <input type="checkbox"/> 血便が出る   |

## 【接種できない場合】

明らかに発熱（通常37.5℃以上）している方や、重度の急性疾患にかかっている方、過去に同じワクチンで強いアレルギー反応が出た方は、接種することができません。また、これまでに腸重積症にかかったことがある方や未治療の先天性消化管障害がある方、重症複合免疫不全症（SCID）の所見が認められる方についても、接種できませんのでご注意ください。その他、診察の結果、接種を延期または中止した方がよい場合もありますので、赤ちゃんの体調について、接種前に医師と十分に相談してください。